

191

2015.1.16

岩手県矢巾町議会

# やかはば

## 議会だより

力を合わせてべったん  
(やはば保育園)

### 町民と議会との懇談会 今年度2回目..... 2

議会で決めたこと  
総合計画を議決事項に..... 4

一般質問 町政を問う  
次期町政を担う決意は 一般質問10議員 ..... 8

岩手医科大学附属病院開院に向けた周辺開発..... 19

# 町民と議会との懇談会 今年度2回目

# なんちよにする？ やはばの未来

平成26年11月27日、町公民館において町民と議会との懇談会を開催しました。今年度は7月2日に続き2回目であり、約30人の町民が参加し、延べ12人の方から質疑・提言・要望が出されました。

議長のあいさつに続き、9月会議における決算状況と議会改革の取り組みについて報告しました。

その後、町政・議会活動に関する質疑応答を行い、さまざまな意見が活発に出され、大変有意義な懇談会となりました。

主な質疑応答は、次の通りです。

## 駅前複合施設

**町民** 複合施設の建設費に12億円、年間管理運営費が

1億円と聞いている。建設費が他と比べても高いと思う。1億円の管理運営費の内訳はどうなっているのか。

**議員** 建設費は資材や人件費の高騰でいろいろ変わってきているようだ。管理運営費の詳細については、私たちがまだ説明を受けていない。

## 駅西地区活性化

**町民** 矢幅駅西口に民間の空き地があるが、どのように利用するつもりなのか。あまり情報が伝わってこないが、何

か聞いていないか。

**議員** 何度もいろんな業者と地権者が折衝しているようだが、最終的な要望にかなわないようである。

広大な土地であり、議会からも矢巾町の将来のために利用をお願いしていく。

## 岩手医科大学

**町民** 矢巾中学校跡地に体育館をとの声もあるが、医大に

は体育館があるのか。なければ町で建設して医大にも使わせてはどうか。

**議員** 医大には立派な体育館があるが、地区の方が使えるかどうかはわからない。

医大附属病院については平成31年5月に開院の予定で、それに伴ってスマートインターの推進や西バイパス延長などの要望をしている。今後も町と知恵を出し合って検討していきたい。



## 節電

**町民** 町民がLEDを設置する場合に無利子で資金を貸し出してはどうか。

**議員** 今後の研究課題として検討させていただきます。

## 道路

**町民** スマートインターから医大附属病院までの道路の整備は県でやるべきだと思うが、町で行う事業もあるのか。福祉予算に影響はないのか。

**議員** 県道に関する拡張は県において行うが、歩道の新設など町道に関する部分は町の

事業となる。まだ見えてこないところもあるので、意見としてお聞きする。

**町民** 町道西部開拓線が今後ますます交通量が増えると思うので、県道に格上げすることができないか。

**議員** 現在西部開拓線の東側に県道と賀線があり、近くでの県道昇格はなかなか難しいが、私たちも要望していく。

**町民** 道路が非常に傷んでいる。建物を建てるのもいいが、道路補修について忘れては困るといふことを願いたい。

**議員** その通りである。現状を訴えながらできるだけ予算

的措置をしてもらえるように議会としても頑張っていく。

## 少子高齢化

**町民** 矢巾町の高齢化率は21.9%であり、国民創生会議の公表では、矢巾町も将来的には消滅するということがある。町づくりはストリート方式が若い人たちに受け入れられるようだ。今後出生率を

高め、若い人が住みやすく働きやすい町づくりに私も協力していきたい。

**議員** 素晴らしい提案で、しっかりと受け止めて頑張りたいと思う。

**町民** 北高田保育園の駐車場が少ないので、土地購入のための補助などつけられないのか。

**議員** すぐにやれるとは断言できないが、努力していく。

## アンケートで出された主な感想



- ・ 矢巾町全体としては参加人数が少ない。勉強になった。今後も開催してほしい。
- ・ 複合施設建設は十分な検討を要す。
- ・ 議会改革のためにも定期的に開催されたい。
- ・ 本日の出席者は前回より少なく残念に思う。もっと多くの人が出席できる方法を考えてみては。
- ・ 大変よかった。今後も続けてほしい。
- ・ 各議員の皆さんが地元の方々の支持の方々の懇談会を着実に実行していただきたい。そこをいかに本会は必要なくなると思つ。
- ・ 若い方に参加してほしい。



熱い思いを語る町民

# 住みたい町づくりに向け 総合計画を議決事項に



総合計画に沿って建て替え中の煙山保育園（1月5日開園）

議会で決めたこと

## 議員発議で条例制定

第7次総合計画は平成28年4月から実施運営されますが、従来の策定方法を改め議会の議決事項にするための条例を制定しました。  
これにより総合計画を住民とより密接な関わり合いを持

たせることができるようになります。次期総合計画の策定が公正でかつ透明性が確保されるものとなります。  
従って、住民の多くの意見が町政に反映されることにより、その効果が大きく期待されます。



調査研究中の改革小委員会

## 議会改革特別委員会報告

### 開かれた議会を目指して

平成24年12月会議以来議会改革に取り組んできました。議会改革は町民の福祉向上や住みよい地域づくりのために行うものであり、今後より一層開かれた議会活動を目指していきます。

- 【今までの取り組み】
- ・採決状況を議会広報で公開
  - ・常任委員会の2年任期実施
  - ・町民との懇談会

- 【今後の取り組み】
- ・通年議会の導入
  - ・総合計画を議決事項に
  - ・各種事業計画への関わり
  - ・会派制の導入
  - ・政務活動費の創設検討
  - ・常任委員会のあり方
  - ・議会の見える化
  - ・議会基本条例の制定

委員長 廣田 光男

# みなさんからの請願

11月会議

▽政府による緊急の過剰米処理を求める請願

請願者 農民運動岩手県連合会  
会長 久保田 彰孝  
紹介議員 小川 文子

全員賛成

採択

審査意見

主食の米の適正な需給調整を図ることは非常に大事なことであることから、古米、古米販売に全力を傾注して一日も早く過剰米の適正処理をすることが、生産者および消費者にとって喫緊の課題である。

12月会議

▽米価安定対策等に関する請願

請願者 岩手中央農業協同組合  
代表理事組合長 藤尾 東泉  
紹介議員 藤原 由巳

全員賛成

採択

審査意見

平成26年産米にかかる概算金は予想をはるかに上回る大幅な下落となり、稲作農家はかつてないほどの経営圧迫を受けている。  
政府の農業政策による制度上の課題も多くあることから、一日も早い支援策が必要である。

12月会議

▽「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金」継続に向けた、国への請願

請願者 岩手県教職員組合  
盛岡紫波支部  
支部長 三又 恭次  
紹介議員 山崎 道夫

全員賛成

採択

審査意見

東日本大震災で被災し経済的理由により就学が困難な子どもを対象に、平成26年まで国による就学支援等が行われている。  
いまだ仮設住宅住まいを余儀なくされている被災家庭も多いことから、支援継続は今後も必要である。

12月会議

▽少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1還元をはかるための、政府予算に係る意見書採択を求める請願

請願者 岩手県教職員組合  
盛岡紫波支部  
支部長 三又 恭次  
紹介議員 山崎 道夫

全員賛成

採択

審査意見

35人以下学級からさらに教職員の目の届く30人以下学級の導入が望まれる。  
機会均等に一定水準の教育を受けられるよう、国は義務教育国庫負担割合を2分の1にし責任を果たすべきである。

12月会議

▽子どもの医療費助成制度拡充を求める請願

請願者 子どもの医療費助成制度の拡充を求める矢巾の会  
共同代表 伊東 宗行  
松浦 みよ子  
久慈 正夫  
紹介議員 谷上哲、齊藤正範、昆秀一、山崎道夫、川村よし子、小川文子

全員賛成

採択

審査意見

少子化傾向は深刻さを増している。子どもを安心して産み育てることができ環境を整備し、あらゆる面から少子化対策に取り組むべきである。

議会で決めたこと

# 町施設の管理業者を承認

定例会12月会議は12月9～12日の期間で開催され、条例案や指定管理15施設9業者の指定、補正予算等を審議しました。

## 主な施設と新たな業者

- ▽南昌グリーンハイツ  
ドルフィンサポートやはば
- ▽キャンプ場  
やはばキャンプ愛好会
- ▽屋外運動場  
矢巾町体育協会

※その他施設と業者は採決状況一覧表を参照ください。

## 【主な質疑】

**質問** 9月会議で屋外運動場の使用料に関する減免措置についての質疑があったが、その後の対応は。  
**答弁** 町体育協会と体育施設の減免内容について協議し、学校等の団体、県民体への出

# 議会で決めたこと

## 主な歳入

▽町民税  
2億1398万円

▽土地売却収入  
3831万円

▽がんばる地域交付金  
1965万円

## 主な歳出

▼除雪事業  
6790万円

▼児童館整備事業  
4281万円

▼予防接種事業  
796万円

## 【主な質疑】

**質問** 煙山児童館建設費用の増額理由は。  
**答弁** 建設予定地の変更により、軟弱な地盤の強化や既存の施設の防火壁の設置が必要となり、併せて人件費・資材費が高騰したため。

**質問** インフルエンザの罹患状況と予防接種状況は。  
**答弁** 矢中、東小が学級閉鎖と徳田小、不動小は学年閉鎖となっている。  
 予防接種を受けた人はいつもより多いと思われる。

## 工事請負契約

定例会10月会議は10月27日に開催され、国民保養センター災害復旧工事について、管理棟の駐車場エリアの全面改修工事が必要となったことから、請負金額を約453万円追加し、工事の総体請負金額を約1億2009万円としました。



新たな業者で管理される南昌グリーンハイツ

## 補正予算

**質問** グリーンハイツの安全対策はどうなっているか。  
**答弁** 監視体制等は仕様書で取り交わしており、施設点検は指定管理者が専門業者に委託して、点検している。

補正予算は、一般会計、2特別会計、水道・下水道事業会計で計上され、一般会計は約3億3097万円を追加し、約98億7803万円となりました。主な内容は次の通りです。

# 各議案の採決状況

平成26年定例会10月会議

議案番号	提出議案	議員名	齊藤正範	藤原由巳	村松信一	山崎道夫	川村農夫	小川文子	谷上哲	廣田光男	秋篠忠夫	芦生健勝	昆秀一	村松輝夫	藤原梅昭	川村よし子	米倉清志	高橋七郎	長谷川和男	藤原義一	採決結果	
議案65号	国民保養センター使用料の改正		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案66号	駅トイレ破損の和解		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案67号	国民保養センター災害復旧工事請負契約の変更		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議案13号	総合計画を議決するための条例の制定		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

平成26年定例会11月会議

議案68号	一般会計に衆議院選挙費用等の追加補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案69号	国民健康保険事業特別会計補正予算保険税還付加算金等		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案70号	介護保険事業特別会計補正予算延滞税		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議案14号	政府による緊急の過剰米処理を求める意見書提出		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

平成26年定例会12月会議

議案71号	一般職員の人事院勧告に沿った昇給と勤勉手当支給月数の条例改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案72号	固定資産価格変動に伴う道路使用（電柱・郵便箱等）占用料の条例改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案73号	町営住宅条例の法改正による条文変更と入居（原発被災対象者）を優先的に決定する項目の追加		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案74号	固定資産価格変動に伴う水路使用（地下埋設物）占用料の条例改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案75号	矢巾観光（株）と国民保養センター・高齢者活動センター・屋内外ゲートボール場の5年間指定管理契約		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議交	除
議案76号	矢巾町社会福祉協議会と徳田・不動・煙山各児童館の3年間指定管理契約		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議交	除
議案77号	矢巾ゆりかごと矢巾東児童館の3年間指定管理契約		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案78号	J Aシンセラと矢巾高苑の5年間指定管理契約		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案79号	岩手中央農業協同組合と農村環境改善センターの5年間指定管理契約		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案80号	土橋自治会と地区農業構造改善センターの5年間指定管理契約		○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案81号	ドルフィンサポートやはばと南昌グリーンハイツの3年間指定管理契約		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案82号	やはばキャンプ愛好会と町営キャンプ場の3年間指定管理契約		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案83号	東北共立・寿広グループと田園ホール5の5年間指定管理契約		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案84号	矢巾中学校屋外運動場照明施設の指定管理期間の変更		○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案85号	体育協会と屋外運動場の4年間指定管理契約		○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案86号	一般会計の除雪費、児童館建設費などの増額補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案87号	介護保険事業会計の支出科目を組み替える補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案88号	駅周辺土地区画整理事業会計に、保留地売却収入などの増額補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案89号	水道事業会計支出の電気料増などの補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案90号	下水道事業会計支出の電気料増などの補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議案15号	「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金」継続に向けた、国への意見書提出		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議案16号	少人数学級の推進など定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための国への意見書提出		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議案17号	米価安定対策等を求める国への意見書提出		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議案18号	子どもの医療費助成制度の拡充を求める県への意見書提出		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○=原案に賛成 ●=原案に反対 欠=欠席 除=除斥 議交=議長交代  
 ※除斥：地方自治法第117条の規定により、議長および議員は自己の業務等で直接利害関係のある事件については、その議事に参与することができないため、議場から退席して採決に加わらないこと。  
 注：藤原義一議長は採決に加わらない。

# 議会で決めたこと



むらまつ てるお 議員  
村松 輝夫 議員

# 次期町政を担う決意は 将来を担う若い方に委ねる



勇退を表明した川村町長

**質問** 川村町長に次期町政を担う決意について、また新聞で「川村矢巾町長が勇退へ」と報道されたが真意を問う。  
**町長** 次期町政については、本町の今後を新しい発想力で将来を担う若い方々に委ね、後進に道を譲る決断をした。

一般質問 町政を問う

**質問** 公共施設の老朽化対策について本町の現状を問う。  
**町長** 「公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進について」の国からの通知により、本年度から計画策定のため、固定資産台帳の整備等を始めたばかりである。公共施設等の現状把握については平成27年度から具体的に把握することとなる。

**質問** 公共施設の付属設備である、和式トイレを洋式トイレに変えることが必要ではないか。  
**町長** 予算編成時に、歳入・歳出のバランスを見て少しずつ改善していく。

## 公共施設の老朽化対策は 次年度から把握開始

先達の思いを引き継ぎ、町政を担い全力で取り組んできたが、次の世代に矢巾町の将来を託す時期が来たと判断した。残りの任期を全知全能を傾け責務を全うしたい。

計画には、いくらかかると試算されるか。また資金計画は。  
**町長** 質問された試算と計画を策定することこそが、公共施設総合管理計画策定の趣旨になる。

**質問** 今後廃止される施設はあるか。その場合の町民サービスをどのように補っていくのか。  
**町長** 町営住宅は、長寿命化修繕計画を策定し、今後の維持管理、長寿命化の管理を行っている。

また、小中学校施設は耐震化工事が終了しており、現在は社会教育施設等の耐震診断に取り組んでいる。  
今後の公共施設の新設・長寿命化は第7次総合計画と併せて検討していく。

# ズバリ 町政を問う



再開された国民保養センター



一般質問とは、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い政治姿勢を明らかにするものです。12月会議では10人の議員による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。

一般質問 町政を問う

### ● 村松 輝夫 議員…………… P9

- ①次期町政を担う決意
- ②町公共施設の老朽化対策

### ● 藤原 由巳 議員…………… P11

- ①本町の経済実態と今後の経済施策
- ②社会教育事業の更なる充実

### ● 村松 信一 議員…………… P13

- ①平成27年度の予算編成及び次期総合計画策定の基本的な考え
- ②地方創生
- ③公共施設等の老朽化対策の推進

### ● 山崎 道夫 議員…………… P15

- ①岩手医大附属病院開業に向けた町の取り組み
- ②給食に骨付き魚を取り入れるべきでは

### ● 藤原 梅昭 議員…………… P17

- ①日本の将来を担う人材を矢巾から
- ②豪雨災害からの復旧状況
- ③医大と連携した夢のあるまちづくり

### ● 谷上 哲 議員…………… P10

- ①地方創生に関して
- ②女性の活躍に関して
- ③生活困窮者自立支援法施行に関して

### ● 川村 農夫 議員…………… P12

- ①統一地方選挙の年の予算編成
- ②平成26年度で6次総の達成度は
- ③商工観光課より地域振興課としての取り組みを

### ● 小川 文子 議員…………… P14

- ①駅前建設予定の複合施設
- ②8・9大雨洪水被害対策

### ● 川村 よし子 議員…………… P16

- ①少子化対策
- ②福祉灯油事業の取り組み

### ● 昆 秀一 議員…………… P18

- ①町における宣言制定の意義
- ②若い世代の投票率向上を
- ③障がい者支援のあり方

※次ページからの各議員の質問と答弁は、紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。なお、詳しい内容を知りたい方は、議会事務局にお問い合わせください。



ふじむら よしみ 藤原 由巳 議員

# 本町の経済をどう進めるか

## 交流人口増による経済効果を

**質問** 政府は7～9月のGDPを2期連続マイナス成長と発表した。本町の経済施策をどう進めていくのか、以下についてお聞きする。

**町長** 本町の町民所得が県下第2位の288万8000円と示されたがその主な要因は何か。

**町長** 給与所得のほかに運輸・通信業の増加、特に第2次・第3次産業の増加と交流人口増によるものと捉える。

**質問** 農業所得が年々減少し、特に本年は米価下落で悲鳴を上げているが活性化対策は。

**町長** 基幹産業としての農業の位置付けは変わらず、認定農業者の育成と集落営農組織の法人化への誘導等、地域連携による環境作りに努める。

**質問** 知識と経験が豊富な高齢者を活用する経済対策を示されたい。

**町長** シルバー人材センターを核に「社会の担い手」として働く意欲を引き出し、就労による活力から経済効果への波及を目指したい。



東京国体少年男子の部で優勝した不来方高校が主力の男子ハンドボール

**質問** スマートインター設置計画がスタートしたが企業誘致への追い風となるか。

**町長** スマートインター計画は平成30年3月完成予定で、特にウエストヒルズ広宮沢への企業誘致の効果を期待している。

**質問** 「改正地方教育行政法を町民にどう知らせるか。」

**教育委員長** 来年4月からは経過措置としての新たな体制となることから、速やかに対応したい。

**質問** 女性組織と郷土芸能活動が衰退傾向にあるが活性化に向けた対策は。

**教育委員長** 大きな課題と捉え、これまで以上に支援の充実を図る。

**質問** ハンドボール全国制覇の不来方高校の地元としてのさらなる強化対策はどうか。

**教育委員長** 本町が県ハンドボール競技の人材輩出に大きな貢献をしてきており、今後も岩手国体に向けた強化と強力なチーム養成への情報収集に努める。

**質問** 女性組織と郷土芸能活動が衰退傾向にあるが活性化に向けた対策は。

**教育委員長** 大きな課題と捉え、これまで以上に支援の充実を図る。

**質問** ハンドボールの強化対策は

**町長** 国体優勝を目指す



やがみ さとし 谷上 哲 議員

# 道の駅設置計画の検討を

## 農工商連携による振興に努める



道の駅おとりつめの産直オトデ館での視察研修（九戸村）

**質問** 「まち・ひと・しごと」地方創生について本町の取り組みは。

**町長** 地域の特性を生かした魅力ある就業機会の創出等、国・地方公共団体・事業者が相互に連携を図りながら協力するよう努めること等が、地

方自治体に求められている。町では人口減少対策等に係る検討委員会を立ち上げることとしている。

**質問** 第7次総合計画に、道の駅の設置を検討しては。

**町長** 道の駅は、本町でも6次産業化の推進や観光資源を生かすことでの雇用創出の取り組みとしても重要である。今後、岩手医大附属病院移転敷地内に建設が予定される商業施設で、有効活用なども念頭に置き、農・商・工連携による産業の振興に努めていく。

**女性活躍の取り組みは**

**男女共同参画プランを策定**

**質問** 「女性が輝く日本をつくるための政策」が言われているが、本町の基本認識と今

**後の取り組みは。**

**町長** 人口減少問題がクローズアップされる昨今、女性の社会参画への期待が一層高まり、女性の視点が加わる事で経済の成長につながる事が期待されている。「田園都市やはば男女共同参画プラン」は、28年度からの新たな男女共同参画プランを策定する予定となっている。

**質問** 来春、小学6年まで児童館利用が拡大されるが、本町の対応は可能か。また、女性の就業支援につながるか。

**町長** 昨年行ったニーズ調査の結果等を基に試算した結果、6年生までの対応は可能。煙山児童館は、増築部分が完成する事により可能になる。これにより女性の就業支援につながるものと考えている。

**質問** 女性の雇用拡大は。

**町長** 女性の雇用拡大を民間企業や自営業者にも理解・協力を得ながら女性が働ける場、男性も家事・育児等に協力できる環境づくりを進める。



むらまつ 信一 議員

# 6次総最終年の重点事業は 駅前区画整理の完成を目指す

**質問** 第6次総合計画の最終年度として重点的に取り組む事業は何か。

**町長** 矢幅駅前区画整理事業に重点的に取り組み、複合施設である交流センターを27年12月に完成させたい。

**質問** 27年度の予算編成策定の基本的な考えは。

**町長** 昨年8月9日の災害復旧を最優先し、被害箇所早期復旧に努める。

**質問** 27年度の町税の見込みについて問う。

**町長** 個人住民税は若干の減収、固定資産税の土地について減収、家屋については増収。総じて前年度とほぼ同額の33億3000万円を見込んでいる。

# 次期予算は新町長の公約で 改選年度であり配慮していく



かわむら あきお 議員

**質問** 平成27年度は町長・町議会議員選挙が行われる。改選後の町長のマニフェストや改選議員の議決による施策もあつてしかるべきと考えられる。従って骨格予算を進めるべきでは。

**町長** 事業の継続性や緊急性および実務効果を参酌の上、当初予算を編成したいと考えられるが、町長の改選年度であることに配慮したいと考える。また、総合計画策定に当たり町民の1割を対象にアンケートを実施することから、策定期間は予定通り来年度から2カ年としたい。



矢幅駅前に建設中の屋台村（道路左側）



商業施設建設中の藤沢地区

# 第6次総の 達成度はどうか 本年度で86%達成

**質問** 第6次総合計画後期計画の推進中に、豪雨災害があった。本年の年度末における達成度はどれくらいか。

**町長** 昨年の大雨被害の復旧事業を最優先に取り組んできたが、達成状況は事業費ベースで86%を見込んでおり、順調に事業が進捗している。

# 地域振興課の 創設を 観光と地域振興を 協調する

**質問** 商工観光課という枠の中で観光の灯りを守るのではなく、地域振興課を創設し、地域振興施策全体の中に観光要素を盛り込み、創造型のブランドデザインを行うことが将来につながるものと考えられるがどうか。

**町長** 観光施策の推進に当たっては、中長期的な視点に立ち、地域振興施策と協調しながら、総合的かつ計画的に事業を推進している。地域振興施策全体の中に観光要素を盛り込み、創造型のブランドデザインを新たに策定することについては、第7次総合計画策定に際して、観光要素の盛り込み方を関係機関と協議・検討していく。

# 人口減少対策 委員会設置で対応

**質問** 本町は特殊出生率が県内最下位であるが、地方創生の重要課題である人口減少対策の推進は。

**町長** 早期に役場内に横断的な少子化対策等に係る委員会を設置し対応を検討する。

# 介護人材確保と不足に よる影響について問う。



やまざき みちお  
山崎 道夫 議員

# どう生かすか医大病院開業 受け入れ体制を整えて対応



医大祭でにぎわう矢巾キャンパス

**質問** 平成31年5月に総合移転する岩手医大附属病院の開業を、町の活性化に結びつけるため、必要により商工会等とも連携し、プロジェクトチームを発足させてニーズ等の調査を行い、商店街を含めた街づくりや定住化対策への体制

**町長** 藤沢・中村地区を新たに市街化区域に編入し、民間活力により商業施設や住宅建設が進められている。新たな宅地造成については民間開発や組合施行が中心となる。

**教育委員長** 中骨を取り除いたサバやアジ等の魚を平均して週1回ほど提供しているほか、中骨付きのサンマの切り身を年2回提供しているが、調理に時間を要することなどから中骨付きの魚の使用を増やすことは難しさがある。

**町長** 医大総合移転は町を大きく発展させ、人口も2倍、3倍に増加させることも夢ではない。町の活性化推進の最大のチャンスであり、4年半の中で学生・教員・職員合わせて約4400人が、町に何を求めているのか把握し、定住してもらうための宅地開発や、宿泊施設建設など「攻めの受け入れ体制」をつくり対応するべきでは。

**質問** 和食がユネスコの無形文化遺産に登録されたことを受け、水産庁は学校給食での骨付き魚の普及に乗り出すとしているが、本町でも骨付き魚の使用を増やしては。

**町長** 和食がユネスコの無形文化遺産に登録されたことを受け、水産庁は学校給食での骨付き魚の普及に乗り出すとしているが、本町でも骨付き魚の使用を増やしては。

調理時間を要し難しい

給食で骨付き魚の使用増を

# 複合施設着工を急ぐな 現在の計画で2月に着工



複合施設外観イメージ（北西側）

**質問** 駅前に建設予定の複合施設の年間1億円の維持管理費の積算根拠を問う。  
**町長** 概算額で、施設全体の維持管理費が約2300万円、地域交流センター運営費が約400万円、図書センターが約3700万円、子育て世代

活動支援センター約2900万円、これに光熱水費を別途加算し計約1億円になると試算している。  
**質問** 人員配置はどうか。  
**町長** 地域交流センターに正職員3人、非正規職員2人、図書センターに正職員4人、非正規職員2人、子育て活動支援センターに正職員5人、非正規職員4人とする計画。

中心市街地に立地した。施設の配置は、不審者等の侵入から子どもを守りやすく眺望にも優れた3階とした。  
**国民保養センター砂防ダムは**  
平成26年度末に完成する

**町長** 複合施設周辺でさらに駐車場用地を確保することが難しく、現在の計画で2月に着工したい。  
**質問** 立地は利便性だけを追求し環境がよくない。子育て支援センターがビルの3階に配置されているのは、災害時に危険であると考えがどうか。  
**町長** 親世代の多様な活動を支援促進することに主眼を置いた施設で、利便性を重視し

また、宿泊施設は必要と考えており、会合や宴会ができるような業者を民有地に誘致したい。  
なお、受け入れ体制に向け、必要によりプロジェクトチームをつくり対応する。

また、宿泊施設は必要と考えており、会合や宴会ができるような業者を民有地に誘致したい。  
なお、受け入れ体制に向け、必要によりプロジェクトチームをつくり対応する。

また、宿泊施設は必要と考えており、会合や宴会ができるような業者を民有地に誘致したい。  
なお、受け入れ体制に向け、必要によりプロジェクトチームをつくり対応する。



ふじわら うめあき 藤原 梅昭 議員

# 英語教育への取り組みは 県でも上位ランクに位置



熱心に英語の授業を受ける子どもたち（煙山小学校）

**質問** 「学校教育の充実」に対する成果は。  
**教育委員長** おおむね達成できている見通しだが、不登校児童数は目標を達成できておらず、小学生2人、中学生13人となっている。なお、ほとんど登校できない児童生徒は5人ほど

**質問** 全国体力テストで8種目のうちボール投げと握力が低下し、他の持久走等は過去最高となり得手不得手が鮮明となったが本町の状況は。  
**教育委員長** 本町も同様であり、走ったり飛んだりでは県内でも上位ランクだが、不得手なところをカバーできるよう指導していく。

**質問** 世界の人口70億人の25%は英語圏だが、本町の英語教育の取り組みは。  
**教育委員長** 岩手県でも上位にランクされる位置にあり、外国人講師の指導力は最高クラスと捉えている。

**質問** 東北の復興・人口減少対策にも効果的なILC誘致の意義をどう捉えているのか。  
**教育委員長** 当町の学校では、まだ県のILC講演を受けていないので、今後どのように導入していくか検討したい。

**質問** JR沿いの水抜けの悪い箇所の改修計画は。  
**町長** 南矢幅熊野神社横および矢巾跨線橋下の2カ所は、JRと協議中だが来年度予算にて対策検討中である。

**質問** JR沿いの水抜けの悪い箇所の改修計画は。  
**町長** 南矢幅熊野神社横および矢巾跨線橋下の2カ所は、JRと協議中だが来年度予算にて対策検討中である。

**質問** 未復旧箇所の今後の復旧計画は。  
**町長** 山王茶屋前橋は、年内の予定で復旧工事を進めてきたが、関係工事の遅れで27年2月の完成をめどに協議中。岩崎川橋は、今年度末から着手し27年度末に完成予定。煙山ダムの土砂浚渫は、27年の1月までに完了予定である。町道南昌山線は、27年秋頃をめどに工事中。山林部分は県の事業で見通しが立っていない。



かわむら こ 川村 よし子 議員

# 子育て費用の軽減策を 町独自の支援もしている

**質問** 来年度も保育料の軽減率をさらに上げ支援することが必要ではないか。  
**町長** 町独自の施策として、本年度は30・6%の約7116万円を軽減している。来年度の保育料においても、保護者の所得状況に合わせた応分の負担をお願いしつつ、従前の軽減率を考慮した料金体系を設定していきたい。



家計に響く灯油価格

**質問** 生活保護制度改正後の就学援助制度の取り組みは。また、消費税増税で保護者負担が増えているが、制度の見直しが必要ではないか。  
**町長** 生活保護費引き下げ前

の基準で認定しており、影響はない。また、消費税増税による影響については、学用品費等の支給額の見直しが行われており、就学援助制度の見直しは考えていない。

**質問** 福祉灯油を価格が1リットル100円以上になったときは助成するのか。国の支援があれば考えるのか。  
**町長** 平成19年、20年の価格水準を下回っていることから福祉灯油の助成は考えていない。県では、沿岸被災自治体を対象に助成を実施しており、新たな追加助成は考えていない。

**質問** 給食費の無料化を実施できないか。  
**教育委員長** 学校給食法で、食材費は保護者負担、それ以外の人件費を含む費用は自治体負担と定められている。児童生徒就学援助要領等により、給食費も含んだ援助をしており、給食費の無料化は考えていない。

# 岩手医科大学附属病院 開院に向けた周辺開発



岩手医大附属病院の開院が平成31年5月と決まり、いよいよ待望久しい総合病院が矢中町に移転してきます。町政調査会は医大の管理運営会社であるこずかたサービス社長の佐藤久伸氏を講師に迎え、病院と本町の町づくりの将来像を考える研修会を開催しました。

研修会では宿泊施設の整備や開業時の往来人口約1万人に対する利便性をどう図っていくかなど多くの課題が提起され、将来のよりよい町づくりにしっかり生かしていかなければと強く感じました。

町政調査会長 廣田 光男



多くの課題が提起された研修会

# 町の宣言制定の意義とは 町民の規範意識向上のため



こん しゅういち 議員  
昆 秀一



規範意識向上のための宣言塔（さわやかハウス東側）

**質問** 本町には「非核平和の町宣言」「矢巾町福祉のまち宣言」「矢巾町健康長寿のまち宣言」が制定されている。今後本町自体のオリジナル宣言である真の意味での「宣言」制定を目指すべきでは。

**町長** 宣言文は多くの検討を重ねた独自性のある文であり、町民のあるべき姿、規範意識の向上を目指している。今後の「宣言」制定の際にも、本町の独自性のあるものとするよう努める。

**質問** 本町には音楽を象徴としている田園ホールがある。加えて、26年国で障害者権利条約の批准がされていることから、「音楽と子どもや高齢者や障がい者にやさしい町」として本町で宣言や条例化を目指してはどうか。

**町長** 貴重な提言としてお聞きする。

**質問** 町の行く末を担うのは若い世代であるが、その子どもたちからの声を総合計画に生かすためどのように採択しているか。

**町長** アンケートは18歳以上からであり、その下からは取っていない。総合開発委員には小中学校の校長先生等も入っていることから、その方々からの意見を反映していく。

**質問** 小中学校のうちから政治に対して興味を持つ教育が必要であると思うが、その考えは。

**教育委員長** 小学6年生、中学3年生で政治を学んでいる。町独自の取り組みとして、来年度から明るい選挙推進協会の協力を得ながら授業を行う計画である。

**質問** 住民投票条例を制定して18歳以上にも投票権を与えるなど、政治意識を高め投票率の向上を図ってはどうか。

**町長** 住民意向を問うような重大な問題が発生した場合には、住民投票の条例化制定を検討するが、政治意識の高揚のために制定することは考えていない。

若い世代の投票率向上を  
明推協の協力を得て  
授業を行う計画

## 町民の声を聞く議会に

昆 長次郎さん（高田1区）

私はほとんど毎回一般質問を傍聴していますし、議会との懇談会にも出席して意見を述べさせていただけます。その中で、最近の議会は徐々に変わってきているようには感じますが、まだ私たち町民の声が議会を通して町政に反映されているようには思えません。従って、もっとたくさん私

町民の声を聞いて、いろいろな意見を受け入れられる議会になってほしいと思います。

私はエネルギー問題や地域の活性化について自分なりに真剣に取り組んできました。それを常に議会に対して伝えてきています。

議会は、それらの課題をしっかり調査研究して、町政に生かしてほしいと思います。

私も  
ひとこと!



議会を傍聴する筆者



大会で熱唱する筆者



## 第52回青少年みんよう全国大会中学生の部 優勝

おの でら なつ き  
小野寺 夏樹 さん (矢巾北中学校3年 新田1区)

さまざまな世代へ  
伝えていきたい民謡

私は小学校1年生のときから民謡を習っていました。唄が好きだった私を母が民謡教室に連れて行ってくれたのが始まりです。見学に行くとその当時私と同じくらいの年の子どもたちがマイクの前で唄っているのを見て、私もすぐに習いたいと思いました。

稽古は毎月2回。初舞台は田園ホールで行われた発表会でした。家族が見守る中、きれいに着飾ってもらい、失敗なく終わることができました。その時に師匠である漆原栄美子先生のステージを間近で見て感動し、いつか私も師匠のようにになりたいと思いました。数曲唄えるようになると、大会にも出場できるようになり、練習を重ねていくうちにさまざまな大会で入賞するようになりました。中学2年の時には、日本郷

土民謡協会主催の青少年みんよう全国大会の中学生の部で優勝することができました。さまざまな県から集まった中学生の唄を聞き、まさか自分が優勝するとは全く思っていなかったので、優勝した瞬間嬉しくて涙が出ました。

中学生になり、部活との両立が大変な中続けてきて良かったと思えました。また、熱心にご指導してくださった漆原先生には感謝の気持ちでいっぱいです。

4月からは高校生になるので、どの大会でも一般の大人の部で競うことになりました。さらに稽古を頑張り、さまざまなショーや大会、老人ホームへの慰問を通して、いろいろな世代の人に民謡の素晴らしさを伝え、師匠や周りの方々への感謝を忘れずに唄っていききたいと思います。

## あ と が き

表紙によせて  
12月19日にやはば保育園で餅つき会が行われました。年少の子たちは、お兄ちゃんすごいなあという表情で見えています。



東日本大震災から4度目の正月を迎えましたが、被災地の復旧復興はまだ道半ばです。これからも息の長い支援をしていきたいものです。

当町も豪雨災害から2度目の正月、より安全・安心な町づくり、子どもも大人も夢の持てる町にしたいものです。

編集委員 藤原 梅昭

発行・編集責任者

議長 藤原 義一

編集委員

委員長 山崎 道夫  
副委員長 小川 正文  
委員 齊藤 正一  
藤原 梅昭